



南部弁で軽快なトークを繰り広げる十日市さん

農業者年金の加入者ら集いの場で交流深める

町農業者年金協議会（鈴木努会長・会員423人）と夢ミルクの会（藤森敏子会長・会員40人）共催の農業者年金のつどいが2月25日、グリーンテージで行われ、会員ら55人が参加しました。

青森県八戸市出身のタレント十日市秀悦さんが「はじめましてイサバのカッチャです」と題して講演。俳優の梅宮辰夫さんの付き人として活動していた話などの軽快なトークや、人気キャラクター「イサバのカッチャ」に扮した歌を披露。愉快的パフォーマンスに、会場は笑い声であふれました。講演会後に行われた懇親会には鈴木重男町長も出席し、参加者は交流を深めました。



開幕式でテープカットする関係者ら④ 俳句との共同企画作品に見入る来場者

葛巻写真クラブ20周年節目を記念して写真展

葛巻写真クラブ（高澤安男会長・会員8人）の設立20周年記念写真展は2月13日から17日までの5日間、総合センターで開かれました。

四季折々の町の風景や人物、祭りなど会員らの感性豊かな作品90点を展示。初の試みとして、葛巻俳句会との共同企画コーナーが設けられ、作品に合わせた俳句を展示し、多くの来場者の目を楽しませました。

13日に行われた開幕式で高澤会長は「写真を通して人の輪が広がりました。これからも写真の力で感動を伝えられるよう努力し、町の魅力を町内外に発信していきたい」と決意を新たにしていました。

心ゆくまで仲間と堪能森のワインパーティー

くずまきワイン主催の「第25回高原のタベ森のワインパーティー」は2月7日、モウモウ館で開かれ、町民ら約200人が仲間との会話を楽しみながら、ワインやブランドを心ゆくまで堪能しました。

被災地との絆をテーマに、大槌町「赤武酒造」と陸前高田市「酔仙酒造」から日本酒が、普代村「くろさき荘」と野田村「えぼし荘」から鱈汁や南部福豚などの料理が提供され、山と海の幸が盛りだくさんのパーティーとなりました。

民謡をロック調にアレンジして歌う2人組の音楽ユニット「Neo Ballad」のライブが行われ、迫力のドラム演奏に合わせて歌われる懐かしい楽曲に会場は酔いしれました。



声高らかに乾杯する参加者の皆さん④ 民謡をロック調にアレンジして歌う Neo Ballad

大盛況スイーツフェア町の食文化を情報発信

いわてS-1スイーツフェア（盛岡・八幡平元気まるごと発信事業実行委員会主催）は2月22日から23日までの2日間、滝沢市の岩手産業文化センター・アピオで開かれ、来場者した約32,000人がスイーツ巡りを楽しみました。

スイーツコーナーには盛岡広域市町を中心に40店、そのうち当町から、くずまき高原牧場と吉澤菓子店が出店。特産品や郷土食などのコーナーには、くずまきワインとみち草の驛が出店しました。また、食の匠の実演が行われ、阿部光子さん（野中）が「そばがき」作りを披露し、町の食文化の魅力をPRしました。ステージイベントでは、ミルンちゃんが軽快なダンスで会場を沸かせました。



くずまき高原牧場では2日間限定で用意した「ガトーショコラ」と「カスタードチーズケーキ」が人気

親子仲良く雪上運動会五日市保育園で初開催

五日市保育園（畑中節代園長・園児16人）の雪中運動会は2月22日、同保育園で初めて行われ、防寒着に身を包んだ親子が寒さを忘れて元気いっぱい駆け回りました。

鬼ごっこ「たことたぬぎ」「3匹の子ぶた」、タイヤチューブそりリレー、親子対決の綱引き、雪中宝探しの5種目が行われ、雪に足を滑らせたり、大の字に寝転がったりと、雪上ならではの光景が見られ笑いを誘っていました。運動会後には昼食会が行われ、参加者は交流を深めながら親子で楽しい時間を過ごしました。

寺田優心くん（6歳）は「雪遊びが好きだから寒くなかった。鬼ごっこが楽しかった」と笑顔を見せました。



親子一組になって行われたタイヤチューブそりリレー



鮮やかな衣装をまとい、口上を述べながら軽やかに舞う「松の舞」

豊作を祈願し伝統の舞春呼ぶ茶屋場えんぶり

茶屋場えんぶり保存会（東春三会長・会員25人）による旧暦の小正月行事「門打ち」が2月16日、町中心部4カ所で行われました。

農作業に活躍した馬の頭を象徴化した華やかな「えぶり」をかぶり、田をならすときに用いる農具「えぶり」を持って舞うのが特徴。烏帽子をかぶった踊り手3人による「舞込み」は、田植えなどの動作を表現。五穀豊穡を祈願し勇壮に舞い踊りました。このほか祝舞の「松の舞」や「大黒舞」なども披露され観客を魅了しました。

茶屋場えんぶりは明治後半に九戸村から伝わり、いったん途絶えたものの約20年前に復活し、伝承され続けています。